

# 全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞しました！

令和2年度第59回「全国林業経営推奨行事」(公益社団法人大日本山林会主催)において、長崎南部森林組合大村支所が、最高位の農林水産大臣賞を受賞しました。

この行事は、森林の適正な管理並びに林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰するものです。今回は農林水産大臣賞8件、林野庁長官賞16件、大日本山林会会長賞に2件の受賞となりました。

賞状伝達贈呈式は東京都内で予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で見合わせとなりました。本来であれば、大日本山林会の総裁 秋篠宮皇嗣殿下がご臨席され、挙行されています。先日、秋篠宮皇嗣殿下のお言葉と表彰状、副賞、記念品が届きました。

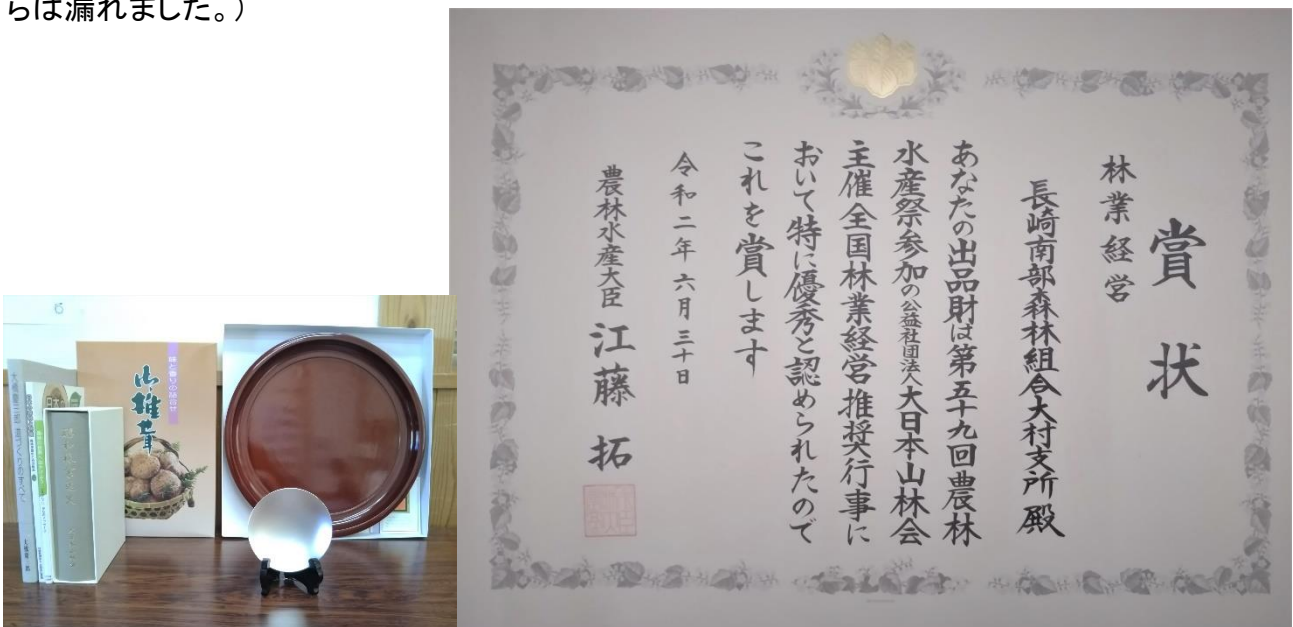
大村支所は、前身の大村市森林組合の時から隣接する複数の森林所有者の森林をまとめて路網整備と間伐等の森林整備を一体的に実施する施業の集約化に早くから取り組んでいます。森林経営計画は大村市内の私有林人工林の92%をカバーし、市有林の経営管理も受託して、大村地域全体の森林管理を担っています。

平成5年に県内で初めて高性能林業機械を導入し、列状間伐を全国に先駆けて実施するなど、コスト縮減、省力化に取り組んできました。最近では、人工林の「主伐・再造林一貫システム」(低コスト造林技術)や、人工林をモザイク状に伐採し天然更新により針広混交林化、広葉樹林化を促進する「更新伐」に取り組んでいます。

また、毎年、地元小学生の林業体験や職場見学を受け入れるとともに大村市農林水産祭りに参加したり、子供から大人まで森林・林業に関心を持ってもらう活動も行っています。

このような取り組みが評価され、今回の受賞となりました。受賞者の経営内容については、大日本山林会から、毎年、『選ばれた林業経営』として冊子にまとめられ出版されます。

全国林業経営推奨行事への参加は、平成元年度に「ながさき農林業大賞知事賞」を受賞していただいたので、長崎県から推薦していただきました。(全国林業経営推奨行事は農林水産祭へ参加しており、農林水産大臣賞受賞者の中から天皇杯が授与されますが、残念ながらその選からは漏れました。)





第五十九回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事

## 受賞者の皆様

「第五十九回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事」においてのご受賞を、心からお喜び申し上げます。

皆様は、森林の適正な管理と林業の技術・経営の改善を通じ、森林の有する多面的機能の発揮および林業の持続的かつ健全な発展に寄与して、これまでにことについて深く敬意を表します。

本年度の全国林業経営推奨行事は、COVID-19の状況に鑑み、賞状伝達贈呈式の開催を見合わせることとなりました。毎年、贈呈式で受賞された皆様にお会いすることを楽しみにしておりましたが、本年はその機会を得ることができず、大変残念に思います。

林業は、森林の維持・培養を通じて、国土の保全や水源の涵養、木材の生産など、国民の生活や経済にとって大切な役割を果たしています。また近年は、地球温暖化の防止や生物多様性の保全などの面からも、持続可能な森林管理への社会的要請が一層高まってきております。現在の我が国の森林は、これまでの先人の努力により、戦後造林された人工林を中心に本格的な利活用期を迎えており、国内の豊富な森林資源を循環利用することが重要な課題となっております。

昭和三十七年の第一回開催以来、今年で五十九回を数える本推奨行事は、公益社団法人大日本山林会の最大の事業であり、我が国の林業の振興にさまざまな形で寄与してまいりました。その本会が、社会に森林の重要性を積極的に発信していくことは、極めて大切なことであると考えております。

本年度の表彰を受けられた皆様の活動が、今後さらに発展していけることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

時節柄、呉々もご自愛ください。

令和二年十一月吉日

大日本山林会総裁 秋篠宮文仁